

# 2019 年度 出向報告書

公益社団法人日本青年会議所  
北陸信越地区新潟ブロック協議会  
地域ブランド創出委員会 副委員長  
和田 桂佑

## 1. 事業内容

- (1) 第1回新潟ブロックカンファレンス メインフォーラム「笑って学ぶSDGs」の実施
- (2) 地域でSDGsを達成する事業「越後妻有農業移住体験ツアー」の実施
- (3) インフラ事業「羽越新幹線計画推進」の実施
- (4) 全国大会 in 富山の支援

## 2. 所感

まずは新潟ブロック協議会へ出向させて頂いたこと、2019年度上村英輔理事長をはじめ拡大スタッフの皆様に御礼を申し上げます。また、私の地域ブランド創出委員会に出向頂いたLOMメンバーの皆様に感謝申し上げます。

私はブロックへの出向が初めての経験であり、当初、右も左もわからず参画しておりましたが、所属する委員会の担当副会長や委員長、幹事に支えられ何とか1年間を送ることができました。私がこの出向で感じたことは、JCの輪の広さと外へ飛び出すことの楽しさです。ブロックに出向して、LOM外とのメンバーとの繋がりが数え切れぬほど多くできました。また、LOMにいないような熱量を持った人や知恵を兼ね備えた方々とも知り合うことができ、共に活動する中で、自己成長の糧となりました。

ブロックの事業は新潟県全体の課題に起因するため必然的にLOMと比べ活動範囲が広くなります。自分たちのLOMではないところで活動する中で、自分たちの地域やLOMとの共通点や違いを発見できることもブロックの良さだと思います。私は農業の分野で事業を立案しましたが、これまで農業に関わってくることがなかったので、新しい発見がたくさんありました。正直、大変なことばかりで、事業としても成果を出せたとは言えませんが、1年間走りきることができたこと、曲がりなりにも事業を実施できたことに自分自身では達成感を感じています。

最後に、今後はブロックで築いた人脈や得た知識をLOMに還元したいと思います。また、しばらく休憩した後に、もう一度ブロックの活動にスタッフとして関わりたいと思っています。

以上